



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日 東

上場会社名 株式会社大紀アルミニウム工業所 上場取引所
 コード番号 5702 URL <http://www.dik-net.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 隆章
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 小川 泰司 (TEL) 06-6444-2751
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 119,438 | 1.9 | 2,648 | 33.0 | 1,876 | △1.9 | 1,011 | △32.6 |
| 27年3月期第3四半期 | 117,210 | 21.4 | 1,990 | 34.6 | 1,912 | 199.8 | 1,500 | — |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 463百万円(△78.8%) 27年3月期第3四半期 2,179百万円(119.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 24.42 | 24.05 |
| 27年3月期第3四半期 | 36.22 | 35.68 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 74,991 | 23,338 | 30.8 |
| 27年3月期 | 79,472 | 23,296 | 29.0 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 23,061百万円 27年3月期 23,039百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 3.00 | — | 5.00 | 8.00 |
| 28年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|-----|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 168,000 | 1.6 | 3,780 | 24.8 | 3,020 | 3.1 | 1,820 | △16.3 | 43.94 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期3Q | 43,629,235株 | 27年3月期 | 43,629,235株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 2,211,320株 | 27年3月期 | 2,207,714株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期3Q | 41,419,897株 | 27年3月期3Q | 41,426,118株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本四半期決算短信(添付資料)P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

平成28年3月期の個別業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|-----|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 113,000 | 4.0 | 2,250 | 18.1 | 2,390 | 3.5 | 1,570 | 47.9 | 37.90 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融政策を背景に、企業業績や雇用情勢の改善が見られるなど景気は緩やかな回復傾向で推移しました。一方、中国の景気減速や資源安を主因とする新興国経済の減速が顕著となり、世界経済の下振れ懸念など先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした環境のもと、当社グループの大手需要先である自動車メーカーは、国内では需要が伸び悩んだものの、米国・欧州等の堅調さを受けて回復基調で推移しました。

この結果、当社グループの第3四半期連結売上高につきましては、アルミニウム二次合金地金685億9百万円（前年同期比2.4%減）、商品・原料他509億2千8百万円（前年同期比8.3%増）で、これらを併せた売上高総額は1,194億3千8百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

収益面につきましては、海外の連結子会社ダイキアルミニウム インダストリー インドネシアが急激な為替変動により為替差損を計上したものの、製品と原料の価格体系は順調に推移しました。その結果、経常損益は18億7千6百万円の利益となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は10億1千1百万円の利益を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ52億1百万円減少し、565億5千6百万円となりました。これは主に現金及び預金が9億3千5百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が14億9千1百万円、商品及び製品が28億4千6百万円、原材料及び貯蔵品が15億6千1百万円それぞれ減少したことによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億2千万円増加し、184億3千5百万円となりました。これは主に有形固定資産が3億2千4百万円、のれんが1億1千万円、投資有価証券が2億1百万円それぞれ増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ43億1千3百万円減少し、401億8千6百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が2億7千8百万円、短期借入金が38億7千万円それぞれ減少したことによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2億9百万円減少し、114億6千7百万円となりました。これは主に繰延税金負債が1億6千4百万円増加したことと、長期借入金が3億7千4百万円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4千1百万円増加し、233億3千8百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億9千7百万円、その他有価証券評価差額金が1億4千2百万円増加したことと、繰延ヘッジ損益が7千3百万円、為替換算調整勘定が6億2百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては平成27年11月11日に「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) |
|---|
| (連結の範囲の重要な変更) 連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。 当社は、第2四半期連結会計期間より、東京アルミセンター株式会社を株式取得により子会社化したため、連結の範囲に含めております。 なお、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。 |

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) |
|--|
| (会計方針の変更) 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。) 及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、 第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。 企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。 この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円減少しております。 |

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,755 | 4,690 |
| 受取手形及び売掛金 | 36,658 | 35,166 |
| 商品及び製品 | 10,687 | 7,841 |
| 仕掛品 | 196 | 179 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,185 | 7,624 |
| 繰延税金資産 | 155 | 148 |
| その他 | 1,121 | 911 |
| 貸倒引当金 | △2 | △5 |
| 流動資産合計 | 61,757 | 56,556 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 11,252 | 11,198 |
| 減価償却累計額 | △6,637 | △6,827 |
| 建物及び構築物(純額) | 4,615 | 4,371 |
| 機械装置及び運搬具 | 21,245 | 21,327 |
| 減価償却累計額 | △17,227 | △17,412 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 4,017 | 3,915 |
| 工具、器具及び備品 | 1,206 | 1,237 |
| 減価償却累計額 | △778 | △828 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 428 | 408 |
| 土地 | 3,541 | 4,060 |
| リース資産 | 506 | 643 |
| 減価償却累計額 | △176 | △242 |
| リース資産(純額) | 330 | 401 |
| 建設仮勘定 | 42 | 143 |
| 有形固定資産合計 | 12,975 | 13,300 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | - | 110 |
| その他 | 89 | 87 |
| 無形固定資産合計 | 89 | 198 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,820 | 4,021 |
| 長期貸付金 | 8 | 4 |
| 退職給付に係る資産 | 394 | 390 |
| 繰延税金資産 | 23 | 23 |
| その他 | 620 | 690 |
| 貸倒引当金 | △217 | △194 |
| 投資その他の資産合計 | 4,650 | 4,936 |
| 固定資産合計 | 17,715 | 18,435 |
| 資産合計 | 79,472 | 74,991 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,805 | 7,527 |
| 短期借入金 | 33,409 | 29,538 |
| 未払金 | 1,087 | 862 |
| 未払法人税等 | 597 | 314 |
| 未払消費税等 | 91 | 388 |
| 未払費用 | 1,069 | 998 |
| 賞与引当金 | 205 | 133 |
| その他 | 232 | 421 |
| 流動負債合計 | 44,499 | 40,186 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,389 | 10,015 |
| 役員退職慰労引当金 | 29 | 12 |
| 退職給付に係る負債 | 90 | 94 |
| リース債務 | 257 | 267 |
| 資産除去債務 | 125 | 127 |
| 繰延税金負債 | 626 | 791 |
| その他 | 156 | 159 |
| 固定負債合計 | 11,676 | 11,467 |
| 負債合計 | 56,176 | 51,653 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,346 | 6,346 |
| 資本剰余金 | 8,838 | 8,838 |
| 利益剰余金 | 6,053 | 6,651 |
| 自己株式 | △741 | △749 |
| 株主資本合計 | 20,496 | 21,086 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,383 | 1,525 |
| 繰延ヘッジ損益 | 45 | △28 |
| 為替換算調整勘定 | 926 | 324 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 187 | 152 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,542 | 1,974 |
| 新株予約権 | 148 | 148 |
| 非支配株主持分 | 109 | 128 |
| 純資産合計 | 23,296 | 23,338 |
| 負債純資産合計 | 79,472 | 74,991 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 117,210 | 119,438 |
| 売上原価 | 111,658 | 113,172 |
| 売上総利益 | 5,551 | 6,266 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運搬費 | 1,736 | 1,718 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 2 | 1 |
| 賞与引当金繰入額 | 25 | 28 |
| その他 | 1,796 | 1,869 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,561 | 3,618 |
| 営業利益 | 1,990 | 2,648 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 46 | 102 |
| 受取配当金 | 82 | 108 |
| 貸倒引当金戻入額 | 56 | 1 |
| 技術指導料 | 38 | 42 |
| 鉄屑売却益 | 78 | 51 |
| その他 | 154 | 89 |
| 営業外収益合計 | 456 | 395 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 440 | 455 |
| 手形売却損 | 5 | 22 |
| 持分法による投資損失 | 3 | - |
| 為替差損 | 33 | 631 |
| その他 | 52 | 58 |
| 営業外費用合計 | 534 | 1,167 |
| 経常利益 | 1,912 | 1,876 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 345 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | 42 | - |
| 受取補償金 | - | 25 |
| 特別利益合計 | 387 | 26 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 49 | 51 |
| 投資有価証券評価損 | - | 0 |
| 特別損失合計 | 49 | 52 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,250 | 1,851 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 415 | 758 |
| 法人税等調整額 | 314 | 55 |
| 法人税等合計 | 730 | 813 |
| 四半期純利益 | 1,520 | 1,037 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 19 | 26 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,500 | 1,011 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,520 | 1,037 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 375 | 142 |
| 繰延ヘッジ損益 | 88 | △73 |
| 為替換算調整勘定 | 258 | △608 |
| 退職給付に係る調整額 | △39 | △34 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △22 | - |
| その他の包括利益合計 | 659 | △574 |
| 四半期包括利益 | 2,179 | 463 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,158 | 443 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 21 | 19 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。